

山口県感染症発生週報

(第30週:平成29年7月24日～7月30日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

・結核:6例(下関3例、周南1例、宇部2例)

【4類感染症】

・レジオネラ症:2例(下関、山口)

・重症熱性血小板減少症候群:1例(下関)

【5類感染症】

・アメーバ赤痢:第29週追加 1例(宇部)

・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:第29週追加 1例(山口)



吸血したフタトゲチマダニ

Wikipedia.org CC BY 3.0

(SFTSウイルス等を媒介する)

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

定点把握疾患

・RSウイルス感染症:周南と宇部で発生が多くなっています。

・手足口病:県全体で警報レベルが続いています。

[警報レベル:下関(5週目)、岩国(5週目)、柳井(3週目)、周南(5週目)、防府(8週目)、山口(9週目)、長門(2週目)、萩(5週目)]*

・ヘルパンギーナ:多くの地域で増加しており、県全体で警報レベルが続いています。

[警報レベル:下関(3週目)、周南(3週目)、防府(3週目)、山口(3週目)、宇部(3週目)、長門(1週目)、萩(1週目)]*

・流行性耳下腺炎:長門で増加し、警報レベルとなりました。 [警報レベル:長門(1週目)]*

・流行性角結膜炎:山口で増加し、警報レベルとなりました。 [警報レベル:山口(1週目)]*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuuiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	28週	29週	30週	疾患名	28週	29週	30週
インフルエンザ	0	1	7	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	33	45	83	ヘルパンギーナ	362	317	343
咽頭結膜熱	12	16	14	流行性耳下腺炎	38	19	50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	84	61	73	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	202	129	156	流行性角結膜炎	1	6	15
水痘	10	5	4	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	621	613	538	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	0	2	0	マイコプラズマ肺炎	1	0	0
突発性発しん	26	23	35	無菌性髄膜炎	0	0	0
				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7
RSウイルス感染症	7	5	0	37	5	2	27	0	0	83
咽頭結膜熱	0	0	0	9	0	1	4	0	0	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	6	1	27	3	1	4	1	3	73
感染性胃腸炎	45	4	0	46	1	7	22	1	30	156
水痘	2	0	0	1	1	0	0	0	0	4
手足口病	156	27	18	127	28	46	28	38	70	538
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	12	0	1	9	2	2	5	0	4	35
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	90	1	9	44	27	74	68	15	15	343
流行性耳下腺炎	1	0	0	3	4	19	1	20	2	50
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	0	0	0	2	12	0	0	0	15
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 感染症発生動向調査における病原体検出情報

・重症熱性血小板減少症候群(SFTS):SFTSウイルス(検体採取週 第29週)が検出されました。

山口県感染症情報センター(山口県環境保健センター内)

電話:083-922-7630 FAX:083-922-7632

<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/>